

専門ゼミB		演習	准教授 関川 弘	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130302	

1. テーマ

情報技術を有効に活用するためには、技術に関する理解を深めるだけでなく、技術を問題解決に適用するスキルを身に付ける必要がある。そのような問題解決スキルは経営のみでなくあらゆる分野に応用可能な汎用性を持っている。本ゼミでは情報技術を利用した基本的な問題解決手法を学習する。

2. ゼミのねらい・概要

情報技術を利用した問題解決手法を習得し卒業研究に向けた準備を行う。

まず、基本的な問題解決手順を学習する。次に問題解決に必要な道具（パレート図、特性要因図等）の利用方法を演習を通して学習する。さらに講師が解説する情報技術のトレンドについて調査を行い、情報技術がどのように利用されているかレポートにまとめる。以上の学習をもとに卒業研究のテーマを決定する。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス	9. 演習：プレゼンテーションスライドの作り方②
2. 基本的な概念（クリティカルシンキング）	10. 情報技術のトレンド調査（人工知能）
3. 問題解決の手順①（現状把握と目標設定）	11. 情報技術のトレンド調査（モノのインターネット）
4. 問題解決の手順②（要因解析）	12. 情報技術のトレンド調査（米国 IT 企業）
5. 問題解決の手順③（情報技術の活用と対策）	13. 情報技術のトレンド調査（情報セキュリティ）
6. 演習：問題解決に必要な道具①（パレート図等）	14. ゼミ生の卒業研究テーマの決定
7. 演習：問題解決に必要な道具②（特性要因図等）	15. まとめ
8. 演習：プレゼンテーションスライドの作り方①	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

問題解決手法は卒業研究のみでなく、将来の仕事や個人的な身の回りの問題の解決にも応用できる。そのような実用的な手法であることを理解し問題意識をもって講義に臨むこと。

課題に対し1時間程度の予習・復習を行うこと。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義中に短いレポートの提出を課す。提出された内容について、講師を中心に他のゼミ生を含めて質疑応答を行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

講義時間中に行う質疑応答について、理解した内容を5分程度に要約して説明できるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

講義への参加度合い（50%）、レポートの内容（50%）

8. テキスト・参考文献

テキスト、参考文献については講義時間中に紹介する。

9. 受講上の留意事項

規律を守り周りの人に迷惑をかけないこと、授業中の私語を慎むこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は情報システム開発会社における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。